

子猫を見つけても触らないで

子猫は母猫が子育てします

幼い子猫でも、母猫がいるならば生きていけます。人がわざわざ保護する必要はありません。

野生動物や野鳥と同じように、たくましく、自分たちの力で生きています。

母猫の姿が今見えなくても、エサを探しに出かけたり、より安全な場所を探していたりと一時的に子猫のそばを離れているだけで、戻って子育てをすることがほとんどです。



人が触ると母猫の育児放棄につながります。

ちょっと待って!! 母猫は自分の子をニオイで判断します。人間のニオイが付いた子猫は、母猫に見つけれないことがありますので、抱き上げたり、撫でたりしないで見守ってください。

また、人間が子猫を触ったりするとニオイがうつり、人間を警戒して母猫が育児を放棄する事もあります。

目の前の動物の状況をきちんと観察し見守ることも、立派な動物愛護です。母猫が子猫を連れて移動するのは主に、人に見つからない時間帯です。また、出産直後など母猫がすぐに動けない場合もありますので、24時間～48時間程度は待つことも必要です。その後も母猫が現れないならば、その子猫たちは引取りの対象となる可能性が出てきます。

(片手の手のひらに乗るサイズまでの幼い子猫に限ります。)

母猫がずっとお世話しておらず子猫が弱っているような場合には、八戸市保健所にご相談ください。

愛護動物の遺棄は犯罪です。

猫を遺棄する(捨てる)ことは、犯罪です。

子猫とともに置手紙がある、入れ物に子猫を入れ封がしてあるといった猫の遺棄を発見した場合は、警察へ通報してください。



引取った後のこと

全ての子猫を助けられるわけではありません。十分な量の母乳を摂取できなかった子猫は、人の手で保護されても免疫が不足しているためほとんどが数日以内に死亡してしまいます。

八戸市保健所衛生課
八戸市田向三丁目6-1
☎ 0178-38-0721